

木登り

期待される効果

健康な心と体	自立心	共同性	意識・道徳性・規範	社会生活と関わり	思考力の芽生え	自然の関わり・生命尊重	心・文字・数量・図形・感覚等への関わり	言葉による伝達	表現豊かな感性と	自然への気づき					
○	○	○	○		○	○		○	○	○					

活動場所	運動広場	対象	未就学児～小学生
班の人数	3人～6人	所要時間	1時間～2時間
団体側の準備物	帽子・水筒・タオル・遊び心		
施設側の準備物	いいねボタン（木登りタッチパネル（常設））・木登りマップ・無線		

活動の内容

- 自然の家運動広場にある選定された木をマップをみながら班で協力して見つける。
- この木登りの活動の核となるねらいは、登った登れなかったではなく、登るか登らないかを自分で決めることを大切にしている。できていない部分ではなく、できている部分を見る。



活動の流れ

- 活動についての説明
《ルール》
 - ・各班でマップを見ながら、登れる木を探す。
 - ・登れる木を見つけたら、順番ずつ木に登り、「木登りタッチパネル」にタッチする。
- 活動開始（全班同時にスタート）
- ふりかえり

留意点

- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難する。
- 班で行動し、適度に休息・水分補給を入れる。
- 子どもたち一人一人の決断を尊重する。
- 子どもが登っている最中、下から大人が口を出さない。
- 木に登る際は、最大人数は、3人まで。
- 登るときは何も持たない状態で登る。
- 蛇、蜂等に注意する。

引率者の動き

- （事前）
- 1班3～6人の班の編成を行う。（各1班ごとに、引率者がつけるようにする）
- （当日）
- 津波警報発令時は、**自然の家屋上**へ避難誘導をする。
 - 班付きで活動支援、活動エリアの巡回指導（体調・安全管理）をする。
 - 研修生の安全管理に努め、水分補給を促す。